

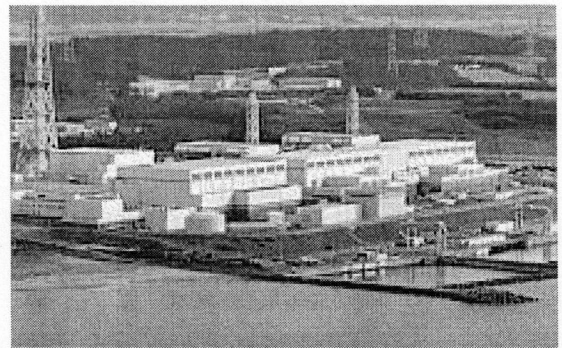
東電・柏崎刈羽原発 再稼働阻止!!

高市政府の原発推進、核武装をゆるさない!

3.11 闘争実行委員会 杉並区下高井戸 1-34-9 第一センター

東京電力は、柏崎刈羽原発6号機を今月20日に再稼働させようとしています。

しかし、そのようなことは絶対に許せません。2011年の福島第1原発爆発事故を引き起こした責任企業である東電が、事故の収束も原因解明もないまま再度原発を運転するなど言語道断です。



柏崎刈羽原発6号機

福島第1原発爆発事故は終わっていない!

2011年3月の東日本大震災、福島第一原発爆発事故から、15年が経とうとしています。津波による犠牲者、原発爆発による被曝・放射能汚染、住民避難など多大な被害を生み出しました。今なお、ふるさとに戻ることができず、多くの人が避難を余儀なくされています。子どもの甲状腺がんが多発しており、健康被害が明らかになっています。

東京電力と国は、巨大地震・津波が発生する可能性を知りながら、何の対策もせず原発を稼働させ続け大事故をおこしました。徹底して弾劾します。

現在、福島第1原発爆発事故の収束一廃炉の展望はなく、原子力緊急事態宣言も発出されたままです。

そして事故後の検証も終わっておらず、廃炉どころか880トンあるといわれる燃料デブリのうちわずか数グラムが取り出されただけの状態です。未曾有の原発事故を起こした東電が原発再稼働をすることは許されません。

東電・小早川社長は、10月新潟県議会で「産業・地域活性化、防災支援」名目として1000億円規模の資金を拠出する考えを表明しました。わかりやすく「札束で顔をひっぱたく」やり口です。

東電弾劾、再稼働阻止、原発廃炉を今こそ訴え闘いましょう。

花角新潟県知事による再稼働容認弾劾!

11月21日、新潟県の花角知事が東京電力・柏崎刈羽原発の再稼働容認を表明しました。そして12月県議会での議決をもって「信任を得た」として、国・東電に「地元同意」を伝えました。

しかし、公表された県独自の意識調査の結果においても、再稼働の賛否は拮抗しており、原発事故の影

響をより大きく受ける30キロ圏内では、再稼働の条件が整っていないとの反対意見が大きく上回っています。

多くの反対・不安の声を踏みにじり、原発を動かすことを決して許してはなりません。

柏崎刈羽原発の稼働は危険だ

これらに先立つ9月29日、6.7号機の「特定重大事故等対処施設」の設計および工事計画の一部について原子力規制委員会から認可されました。工事完成は2031年の見込みとなっていますが、その設置が2029年8月まで猶予される措置により再稼働できるとしています。これ自体が安全最優先とは到底言えず、重大事故時の危険性を軽視するものに他なりません。この6号機では8月、駆動機構の不具合により制御棒が引き抜けなくなる事態も発生しています

(2012年にも同様の事態が発生)。これは、原発運転の根本的欠陥事態です。

東電は、再稼働により1000億円の収支改善効果があると宣伝しています。しかし補助金づけの原発で巨額の廃炉費用も計算に入れると「原発が安価」などというのはデタラメであり、なんとしても原発を稼働させたいがための詐術です。福島第一原発事故の処理費用は現状でも総額23兆円が想定されており、廃炉が長引くことでさらにふくれあがることになります。

地震で原発災害が起きたら避難できない

また、一昨年1月の能登半島地震では、地震・津波などを起因とする原発災害（複合災害）の危険性が再度明らかになりました。避難する道路が寸断されて逃げることもできない、放射線を一時的に避けるとされる「屋内退避」も家屋自体が倒壊しているなど、現状の避難計画はまさに「机上の空論」となっています。特に、新潟は豪雪地帯であり、冬の時期は避難しようにもできない状況となります。避難道路の整備も終わっていません。

原発の直下には複数の断層が見つかっており、周辺

海域にも海底活断層が広く伸びています。しかし東電や規制委員会は、これらをあえて過小評価することにより原発稼働を強行しようとしています。2007年の中越沖地震では、配管断裂や冷却装置の損傷など3700カ所以上が壊れ、運転中だった4基の冷温停止まで20時間もかかりました。柏崎刈羽原発に再度の大地震に耐えられる耐震性はあるのでしょうか。地域住民、原発労働者の被曝、犠牲を前提とした原発稼働など許されません。

中部電力・浜岡原発の耐震データねつ造が発覚！

1月7日、鳥取・島根で震度5強を観測する大地震がおきました。各地で地震が頻発する状況で、原発の耐震性について重大な不正事態が発覚しました。

中部電力は、浜岡原発3,4号機について、再稼働審査に必要な地震の揺れの想定を意図的に過小評価していました。これは審査データのねつ造行為で、きわめて悪質な問題です。

当然にも、「他の電力会社はどうなのか」という疑問が出ていますが、東電は同様の不正がなかったか

の調査は検討していないとしています。しかし、東電こそ2002年の原発トラブル隠し事件など、改ざん・隠蔽が常態化している企業です。21年には東電に運転停止命令が出されています。

耐震データのねつ造は、原発運転の根幹に関わる事態です。再稼働どころか現在稼働中の原発も再度調査が必要です。全原発の即時停止を。そして柏崎刈羽原発の再稼働を阻止しよう。

【2026.1.15】

東京電力に抗議しよう！

東京電力本社 千代田区内幸町1丁目1-3 03-6373-1111